

KUNST ARZT では、昨年に引き続き5度目となる  
山里奈津実の個展を開催します。  
山里奈津実は、金を用いた表現の研究と実践をベースに、  
光や命を探究する日本画アーティストです。  
本展は、粟田神社のお祭りで目の当たりにした  
勇壮な“剣鋒”をきっかけに展開している連作群による  
3度目の個展です。昨年は聴覚要素が中心でしたが、  
本展は信仰心に重点を置いた表現構想です。  
ご注目ください。

(KUNST ARZT 岡本光博)



吹散 2021

#### 展覧会コンセプト

わたしたちは、自分の感覚を全部使って、邪気や穢れを祓うのかもしれない。

#### 経歴

1990年 茨城県生まれ  
2018年 京都造形芸術大学大学院修了 博士(芸術)  
2017年 公益財団法人佐藤国際文化育英財団 第27期奨学生  
2015年 日本文化芸術財団 第20回奨学生  
2014年 京都新聞 掲載  
(10月5日「社殿絵図、京都造形芸大院生「緊張」の模写 離宮八幡宮」)  
2013年 「離宮八幡宮絵図」現状模写 奉納 (離宮八幡宮/京都)

#### 個展

2021年 「8」(KUNST ARZT / 京都)  
2020年 「Cu29+Zn30」(KUNST ARZT / 京都)  
2019年 「Uterus Hysteria (\*)」(KUNST ARZT)  
\*タイトルは正式にはギリシャ語表記  
2018年 「false pregnancy」(KUNST ARZT)

#### グループ展

2021年 「美術ヴァギナ」 KUNST ARZT  
2018年 第27回奨学生美術展 (佐藤美術館/東京)  
2018年 画心展 Selection Vol15 (佐藤美術館/東京)  
2018年 博士課程学位申請作品展 (Galerie Aube / 京都)

2022年 10月25日(火) から 30日(日)

12:00 から 18:00

会 場 : KUNST ARZT

605-0033 京都市東山区夷町 155-7 2F

問い合わせ



KUNST ARZT 代表 岡本光博

090-9697-3786

kunstarzt@gmail.com

## アーティスト・ステートメント

私は「自分が今住む世界に対する好奇心」を金という素材を介して表現している。

古来、聖なるものを描くときに用いられる金の目的は「光」だった。

2016年、卵子は受精の瞬間にたった一度だけ光る（亜鉛のスパークが生じる）と科学誌Scientific Reportsにて発表された。

私たちは、姿形が形成される一番初めのその瞬間にのみ光る。

人間は、科学が発達するもっと前から、生命誕生の瞬間には光が常に存在していたことを無意識に気付いていて、輝く素材である金が絵画に長く用いられてきたことと、どこかでつながっているのではないだろうか、と根拠のないことを考えている。



上：個展「8」展示風景 2021

左：個展「Cu29 + Zn30」展示風景 2020



Patterns

2016

石膏地に着色、フォーターギルディング技法による額縁